

上川 龍之進
法学研究科・教授

【研究】

第1に、日本の財政再建に関する研究(科研費・基盤研究C)として、1980年代から1990年代前半にかけての税制改正をめぐる政治過程について研究を行った。この研究は、さらに継続して発展させ、2024年度に単著として公刊することを予定している。第2に、先進国における緊縮政策を比較する共同研究(科研費・基盤研究A)に参加し、第2次以降の安倍内閣の財政政策について研究を行った。2023年度には論文を公刊する予定である。

【教育】

【大学院】「政治過程論特殊講義／政治過程論」および「総合演習／特定研究(ヨーロッパ政治論)」では、先進諸国の政治経済を分析した英語文献を講読した。「総合演習／特定研究(定性的研究の理論と方法)」では、実証的な政治学の論文を書くうえで必要となる政治学の理論・方法論について学生が理解できるよう、それに関する文献を講読した。

【学部】「政治過程論」、「政治学の基礎」では、政治学の理論を紹介するにあたり、時事的な政治問題に関連付けながら、具体例をできるだけ多く挙げて説明している。大学院の講義と共同開講した「外国語文献研究」では、先進諸国の政治経済を分析した専門的な英語論文の講読を行った。「演習」では、1学期に政治学の教科書や学術論文を講読し、2学期には、受講生が関心のあるテーマについて調査・研究を行った。11月には台湾・国立政治大学の日本研究プログラム(大学院)の学生と合同で研究発表会(オンライン)を催した。

【管理運営】

法学研究科・高等司法研究科評価室、法学研究科・高等司法研究科研究推進室、法学研究科運営委員会、法学研究科・高等司法研究科計画室にて委員を務めた。法学研究科では部局アクションプランの作成等を担当した。

【社会貢献】

【学術団体の委員】2022年10月まで日本行政学会事務局幹事(任期2年)を、2023年6月から日本比較政治学会企画委員(任期1年)を、それぞれ担当した。